

船橋市リハビリセンター
令和3年度事業報告書

指定管理者：医療法人社団輝生会

目次

I	管理の実施状況	1
1	センター基盤の整備	1
	(1) 組織編成	1
	(2) 情報システムの構築	2
	(3) 職員の資質向上	2
2	サービス機能	3
	(1) 職員配置	3
	(2) 提供したサービス	3
3	地域連携・ネットワーキング	4
	(1) 回復期病棟を持つ病院との連携	4
	(2) 医師会との連携	4
	(3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携	5
II	利用状況	7
1	外来患者	7
	(1) 外来リハビリテーション患者数	7
	(2) 月別外来患者（延べ人数）内訳	7
	(3) 年齢別・男女別外来患者内訳	9
	(4) 疾患別外来患者内訳	10
	(5) 地域別外来患者内訳	11
2	通所リハビリテーション利用者	12
	(1) 通所リハビリテーション利用者数	12
	(2) 月別通所リハビリテーション実績（延べ人数）内訳	12
	(3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳	13
	(4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳	13
	(5) 介護度別分類	14
	(6) 地域別通所リハビリテーション利用者内訳	15
3	訪問リハビリテーション利用者	16
	(1) 訪問リハビリテーション利用者数	16
	(2) 月別訪問リハビリテーション実績（延べ人数）内訳	16
	(3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳	17
	(4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳	17
	(5) 介護度別分類	18
	(6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳	19
4	訪問看護利用者	20
	(1) 訪問看護利用者数	20

(2) 月別訪問看護利用者（延べ人数）内訳	20
(3) 年齢別・男女別訪問看護利用者内訳	21
(4) 疾患別訪問看護利用者内訳	21
(5) 介護度別分類	22
(6) 地域別訪問看護利用者内訳	23
5 地域リハビリテーション拠点事業	24
6 リハビリ事業	24
(1) パワーリハビリ教室	24
(2) パワーリハビリフォローアップ	25
(3) プールリハビリ	25
III 収支状況	27
IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告	29
(1) 目標1 利用者アンケートによる患者満足度（外来患者について）	29
(2) 目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の 達成率（通所リハビリ利用者について）	31
(3) 目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上	33
(4) 目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割 合100分の30以上	34
(5) 目標5 利用者アンケートによる患者満足度（通所リハビリ利用者について）	35
(6) 目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の 達成率（訪問リハビリ利用者について）	37
(7) 目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、 勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上	39
(8) 目標8 利用者アンケートによる患者満足度（訪問リハビリ利用者について）	40
(9) 目標9 利用者アンケートによる患者満足度（訪問看護利用者について）	42
(10) 目標10 利用者アンケートによる患者満足度（リハビリ事業利用者について）	43
(11) 目標11 診療所部門 経常収支比率	44
(12) 目標12 訪問看護部門 経常収支比率	45
(13) 目標13 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う	46

(資料)

資料1 組織図	資料7 訪問看護アンケート
資料2 センター内外の研修・学会	資料8 地域リハビリテーション拠点事業 アンケート
資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績	
資料4 外来患者アンケート	
資料5 通所リハビリテーションアンケート	
資料6 訪問リハビリテーションアンケート	

I 管理の実施状況

1 センター基盤の整備

(1) 組織編成

リハビリセンターの組織編成は、センター長を補佐する役割として、副センター長を配置した。以下、クリニック部門、サポート部門、船橋市委託事業部門の3つのセクションを配置し、それぞれの部門においてセンターの基本となるクリニック事業（外来リハ・通所リハ・訪問リハ）、リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）、地域リハビリテーション拠点事業、職員の資質向上、事務の業務を担当し、医療安全、個人情報保護等センターを運営する上での個別の重要事項については、専門の委員会が担当する体制とした。各事業と主な委員会の役割は次のとおり。（資料1 組織図）

A クリニック事業

クリニックは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士が所属し、外来・通所・訪問リハビリテーションの患者の診療及びリハビリテーションを担当した。

B 訪問看護

訪問看護は看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が所属し、訪問看護ステーションの利用者の看護及びリハビリテーションを担当した。

C リハビリ事業（パワーリハビリ教室・フォローアップ・プールリハビリ）

リハビリ事業は、理学療法士、健康運動指導士を配置し、利用者の筋力マシンを使用するトレーニングの相談やアドバイス、プールリハビリの水中歩行訓練等を担当した。

D 地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーション拠点事業は、ソーシャルワーカーを配置し、リハビリについての啓発活動、リハビリ関係者の育成、医療及び介護の連携強化、リハビリの実態把握、リハビリの総合相談を担当した。

E サポート部

サポート部は、事務職が所属し、医療事務、総務・人事、施設管理、患者サービスの向上及び、職員の働きやすい環境作りを担当した。

F 主な委員会の担当事項

① 医療安全委員会及び感染対策委員会

医療安全委員会は、センター内における事故を防止し、安全かつ適切に業務遂行できる体制を確立した。センター内で起こる「ヒヤリハット」報告に対して検討し、事故を未然に防ぐべく対策を提案した。また、センター内で利用者が急変したことを想定し、急変時の対応勉強会を実施した。感染対策委員会は、センター内における細菌、微生物、ウイルス等の感染防止対策を推進し、

院内衛生管理の万全を期した。感染予防に対する意識を高めるため、手洗いキットを使用し、自らの手洗い方法を見直す機会を設けた。また、訪問時の感染対策について、勉強会を実施した。

②個人情報保護委員会及び診療情報開示検討委員会

個人情報保護委員会は、患者等の個人情報の取り扱い・保護・管理・委託・苦情・相談等を審議した。診療情報開示検討委員会は、診療情報の提供・開示の具体的方策及び、実施要綱などの運営上の問題点等を協議するとともに、センター長からの諮問により開示申請者の適否・開示情報の範囲、開示の可否について審査する体制を整えている。

② サービス向上委員会

患者のアメニティーの向上・苦情対応は、サービス向上委員会が担当した。苦情対応として、御意見箱を設置し、患者等の苦情に対応する体制を整えた。生花の配置、患者満足度調査等を行った。接遇向上を目指して、接遇に優れたスタッフを投票で選び、表彰した。また、センター運営の透明性を確保するため、センター内の情報を公開して、事業内容を刊行物にて提供した。

(2) 情報システムの構築

リハビリセンタークリニックで行う診療はチームで行い、電子カルテシステムを導入し、患者の状況・治療の目標等の患者情報を共有している。この電子カルテにより、患者情報が一元化され、チームスタッフが患者とその家族との面談の際に必要な情報提供にも寄与した。

(3) 職員の資質向上

効果的なリハビリテーションの提供には、患者本人から機能回復の意欲を引き出し高いモチベーション（動機付け）をもって主体的にリハビリテーションを行うことができる環境づくりが重要である。その中で、職員の対応は最も重要となる。

このことから、職員には当院が提供するリハビリテーションの理解を深めるため、病院の概要、診療システム、各部門の業務体制だけでなく、当法人の基本理念、診療方針、患者の基本的な権利等を理解し行動できるよう研修を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、専門性を高めるため、外部で行われる研修会にも参加を促した。

各スタッフの接遇に対する意識を共有するため、各自が接遇について気を付けていることについて共有を図った。

(資料2 センター内外の研修・学会)

2 サービス機能

(1) 職員配置

区分	令和3年度
センター長兼院長兼医師	1
副センター長	1
チームマネジャー（看護師）	1
チームマネジャー（作業療法士）	1
看護師	5（3）
医師	1（1）
ケアワーカー	3（1）
理学療法士	13
作業療法士	5
言語聴覚士	2
ソーシャルワーカー	1（1）
健康運動指導士	2（1）
サポート部（事務）	5（1）
運転手	8（8）
総計	49（16）

() 内非常勤職員数

(2) 提供したサービス

ア) 外来リハビリテーション

通院による外来リハビリテーションを提供した。混雑した場合には個別リハビリテーションが十分に提供できなくなることからサービスの提供は予約制とした。また、リハビリテーション科の医師の診察等には一定以上の時間を要することから初回受付も予約制とした。

イ) 通所リハビリテーション

利用者が可能な限り居宅においてその能力に応じ、生活機能の維持・向上を積極的に図り、要支援・要介護状態の予防及びその重症化の予防、軽減ができるよう介護（予防）通所リハビリテーションサービスを提供した。対象は要支援1・2もしくは、要介護1から5の方とし、個別リハ（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）の実施に加えて自主トレーニングを行う時間を設け、1回およそ70分で行った。

ウ) 訪問リハビリテーション

利用者の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活活動の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように訪問リハビリテーションを通じた支援を行った。サービス提供に当たっては、ケアマネジャーを始め、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図った。

エ) 訪問看護ステーション

利用者の心身の特性を踏まえて、個々に応じたケアを実施することで心身の活力を維持し、より安全な在宅療養生活を送れるよう支援した。また、サービスの特性から地域におけるニーズとして、24時間・緊急時への対応が求められていることから、利用者が24時間安心して生活が送れるように24時間の緊急時の対応を行った。サービスの提供に当たっては、ケアマネジャーを始め、関係自治体、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図った。

オ) 地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーションの普及を図る目的から、リハビリ関係者向け講演会として研究大会、リハビリ関係者向け研修会として介護職員向け勉強会・地区勉強会・摂食栄養サポート勉強会を計画し、実行した。新型コロナウイルス感染症の影響により、Webを活用した研修会を実施した。

(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績)

カ) リハビリ事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月30日より9月30日まで休止となった。感染防止のため、利用者の体調チェック・体温測定・手指消毒等の徹底を図った。

① パワーリハビリ教室

市内の身体機能の低下した高齢者等に対し、要介護状態等の予防や軽減、また、自立した生活をできるだけ実現すること等を主な目的として実施した。

② パワーリハビリフォローアップ

パワーリハビリ教室終了後の健康維持・体力作り、仲間との交流などを主な目的として実施した。

③ プールリハビリ

水がもつ特性を活かし、下半身への負担を軽減しながら高齢者の体力及び筋力の維持を目的として実施した。

3 地域連携・ネットワーキング

(1) 回復期病棟を持つ病院との連携

回復期病棟を持つ近隣の医療機関と連絡を取り合い、必要な市民が円滑にリハビリテーションサービスを受けられるよう情報交換を行った。

(2) 医師会との連携

クリニックやリハビリ事業を利用する患者・利用者を通じてかかりつけ医との連携を図った。リハビリセンター刊行物を発行し、医師会郵送物に同封してもらい、会員にリハビリテーション及びリハビリセンターの周知を図った。

(3) 地域の診療所や介護サービス事業者との連携

- ① 近隣医療機関と連絡をとり、情報交換を行った。
- ② 「船橋在宅医療ひまわりネットワーク 地域リハ推進委員会」と連携し、地域リハビリテーション拠点事業の実施に反映させた。
- ③ 「船橋在宅医療ひまわりネットワーク役員会」に出席し、関係団体として協力した。
- ④ 船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと事務局に出向き、運営について情報交換を行った。
- ⑤ 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会と連絡を取り合い、会員である市内外のSWと情報交換を行った。
- ⑥ 「船橋市通所リハビリテーション連絡会」と連携を図り、会の運営に協力した。
- ⑦ 「船橋市訪問リハビリテーション連絡会」と連携を図り、会の運営に協力した。
- ⑧ 「ふなばし訪問看護連絡協議会」と連携を図り、会の運営に協力した。

リハビリテーション総合相談件数

(重複あり)

	センター事業に関する相談			センター以外に関する相談 ※	訪問看護に関する相談
	クリニック事業に関する相談	リハビリ事業に関する相談	その他		
令和3年4月	41	0	0	3	0
令和3年5月	42	5	0	7	0
令和3年6月	33	0	0	4	0
令和3年7月	38	2	0	4	1
令和3年8月	35	4	0	2	0
令和3年9月	38	1	0	3	0
令和3年10月	37	1	0	2	0
令和3年11月	27	1	0	3	0
令和3年12月	32	1	0	8	0
令和4年1月	18	2	0	1	0
令和4年2月	31	3	0	4	0
令和4年3月	25	2	0	8	0
計	397	22	0	49	1

※センター以外に関する相談の内容

- ・ 孫からの相談、86歳の祖母。15年ほど前に乳がんの手術をした。今は一人で歩けるがスムーズでなく、腰も悪い。年齢を重ね段々と筋力が低下している。
- 介護保険でのリハがある。介護保険の申請を助言、地域包括支援センターへ相談するように助言。
- ・ 本人からの相談、市内北部在住の女性73歳。訪問介護の仕事をしているが、6月末で退職する。一昨年に膝の手術をした。無料でストレッチなど体操ができる

場所があれば教えて欲しい。

→シルバーリハビリ体操、近くの公園で実施しているラジオ体操も情報提供した。

- ・本人・家族来院で相談。市内東部在住、2年くらい前から歩行速度が低下、家から20分かかり歩いてきた、2年くらい前から歩行速度が低下、特別な契機はなし。近医から紹介状を貰っていらした。

→紹介状を確認したところ、外来リハは対象外と判明。パワーリハビリ教室をお勧めし、利用を開始した。

- ・CMからの相談。脳卒中後46歳の介護保険未申請の方、麻痺があるが電車は利用可、何とか歩ける。水中歩行ができるプールを探している、プールリハについて問い合わせあり。

→介護保険未申請のため、リハ事業は対象外の方であることを説明。要介助者が利用できるプール、船橋アリーナ、メグスパ、千葉県国際水泳競技場を情報提供した。

- ・嫁が来院し相談。84歳の義父、要支援2。腰痛と変形性膝関節症がある。嫁夫婦は日中店で仕事のため独居。本人は冷房を強くして布団をかけて寝ている。注意しても聞きいれず、立位保持が困難になってきた。便秘→内服→トイレまで間に合わず→部屋で失禁、入浴や清潔保持が困難な状況。リハビリを受けさせたい。

→リハセンターは短時間型であり、入浴も可能な1日型の事業所があることを説明した。地域包括支援センターを情報提供し、相談の仕方をアドバイスした。

- ・娘からの母親の相談。同居している母親、元々家にいたことが無い母親、1年位前に転倒したことを契機に不安で外に出られなくなった。自宅内は伝い歩き、屋外歩行に対しては慎重になっている。包括支援センターや在支の人が来て、デイサービスを紹介されたが本人が乗り気でない。デイサービスのように歌などは好まない。送迎範囲の通所リハの事業所を教えて欲しい。

→該当する事業所を情報提供した。

- ・親類からの相談。一カ月前に脳梗塞を発症した。リハビリ入院について知りたいと。

→回復期リハビリテーション病棟の機能について概要を説明した。市内に回復期病棟をもつ医療機関を紹介した。

- ・夫からの相談。80歳の妻、足腰が衰えバス乗車が困難になってきた。筋力低下が原因だと思う。リハするのにどうしたら良いか？

→介護保険の申請を助言、出張所で手続き可能。その後は担当CMと相談するよう助言。

II 利用状況

船橋市リハビリセンターにおける令和3年度の利用実績は以下の通りである。
なお、表示単位未満を端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

1 外来患者（一般診療・リハビリテーション）

(1) 外来リハビリテーション患者数 (単位：人)

	実患者数	延べ患者数
計	78	2,892

(2) 月別外来患者（延べ人数）内訳

診療日数	258
------	-----

① 外来リハビリテーション実績 (単位：人)

区分	新規（初診）	再診	計
令和3年4月	1	214	215
令和3年5月	5	202	207
令和3年6月	4	212	216
令和3年7月	3	234	237
令和3年8月	4	217	221
令和3年9月	3	271	274
令和3年10月	3	261	264
令和3年11月	1	277	278
令和3年12月	3	255	258
令和4年1月	2	225	227
令和4年2月	2	210	212
令和4年3月	3	280	283
合計	34	2,858	2,892
1日平均患者	0.1	11.1	11.2

② 一般診療実績（通所リハビリテーション利用者への診察） (単位：人)

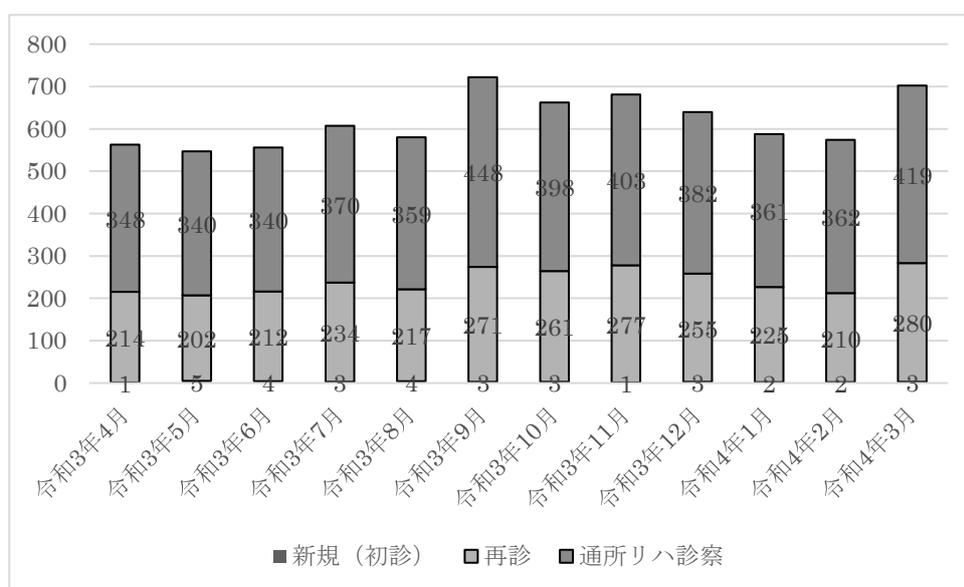
区分	通所リハ診察
令和3年4月	348
令和3年5月	340
令和3年6月	340
令和3年7月	370
令和3年8月	359
令和3年9月	448
令和3年10月	398
令和3年11月	403
令和3年12月	382

令和4年1月	361
令和4年2月	362
令和4年3月	419
合計	4,530
1日平均患者	17.6

③外来診療実績（①＋②）

（単位：人）

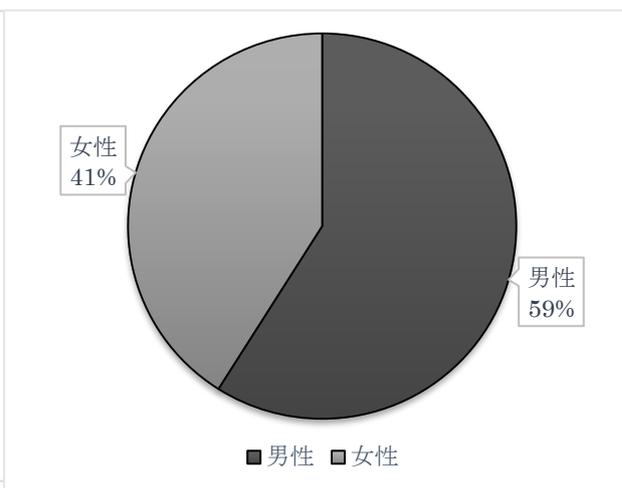
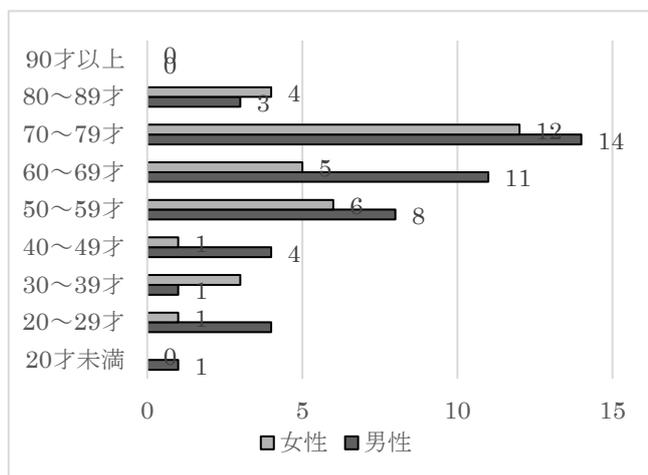
区分	新規（初診）	再診	通所リハ診察	計
令和3年4月	1	214	348	563
令和3年5月	5	202	340	547
令和3年6月	4	212	340	556
令和3年7月	3	234	370	607
令和3年8月	4	217	359	580
令和3年9月	3	271	448	722
令和3年10月	3	261	398	662
令和3年11月	1	277	403	681
令和3年12月	3	255	382	640
令和4年1月	2	225	361	588
令和4年2月	2	210	362	574
令和4年3月	3	280	419	702
合計	34	2,858	4,530	7,422
1日平均患者	0.1	11.1	17.6	28.8



(3) 外来リハビリテーション年齢別・男女別外来患者内訳

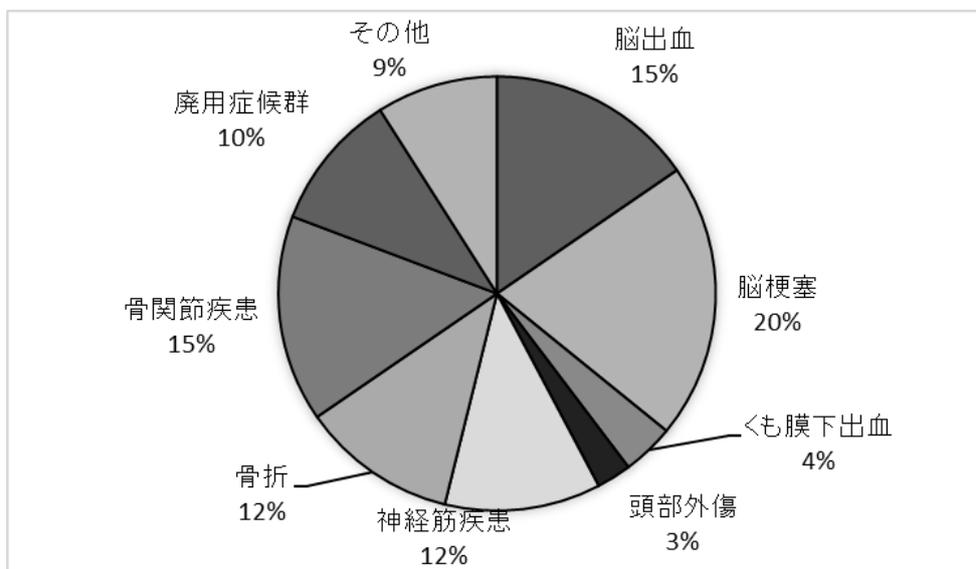
(単位：人)

年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	1	0	1	1.28%
20～29才	4	1	5	6.41%
30～39才	1	3	4	5.13%
40～49才	4	1	5	6.41%
50～59才	8	6	14	17.95%
60～69才	11	5	16	20.51%
70～79才	14	12	26	33.33%
80～89才	3	4	7	8.97%
90才以上	0	0	0	0.00%
合計	46	32	78	100%
平均年齢	60.6	64.4	62.2	



(4) 外来リハビリテーション疾患別外来患者内訳

疾患名	患者数	構成割合%
脳出血	12	15.4%
脳梗塞	16	20.5%
くも膜下出血	3	3.8%
頭部外傷	2	2.6%
神経筋疾患	9	11.5%
骨折	9	11.5%
骨関節疾患	12	15.4%
廃用症候群	8	10.3%
その他	7	9.0%
合計	78	100.0%



(5) 外来リハビリテーション地域別外来患者内訳

地域	患者数	構成割合%
船橋市飯山満町	14	17.95%
船橋市前原東	6	7.69%
船橋市前原西	4	5.13%
船橋市田喜野井	4	5.13%
船橋市薬円台	4	5.13%
船橋市三山	3	3.85%
船橋市習志野台	3	3.85%
船橋市二宮	3	3.85%
船橋市旭町	2	2.56%
船橋市金杉	2	2.56%
船橋市芝山	2	2.56%
船橋市駿河台	2	2.56%
船橋市栄町	1	1.28%
船橋市夏見台	1	1.28%
船橋市宮本	1	1.28%
船橋市金杉台	1	1.28%
船橋市高野台	1	1.28%
船橋市咲が丘	1	1.28%
船橋市三咲	1	1.28%
船橋市習志野	1	1.28%
船橋市新高根	1	1.28%
船橋市西習志野	1	1.28%
船橋市大穴北	1	1.28%
船橋市滝台	1	1.28%
船橋市中野木	1	1.28%
船橋市坪井西	1	1.28%
船橋市東町	1	1.28%
船橋市本町	1	1.28%
船橋市湊町	1	1.28%
その他県内	12	15.38%
合計	78	100.0%

2 通所リハビリテーション利用者数

(1) 通所リハビリテーション利用者数

(単位：人)

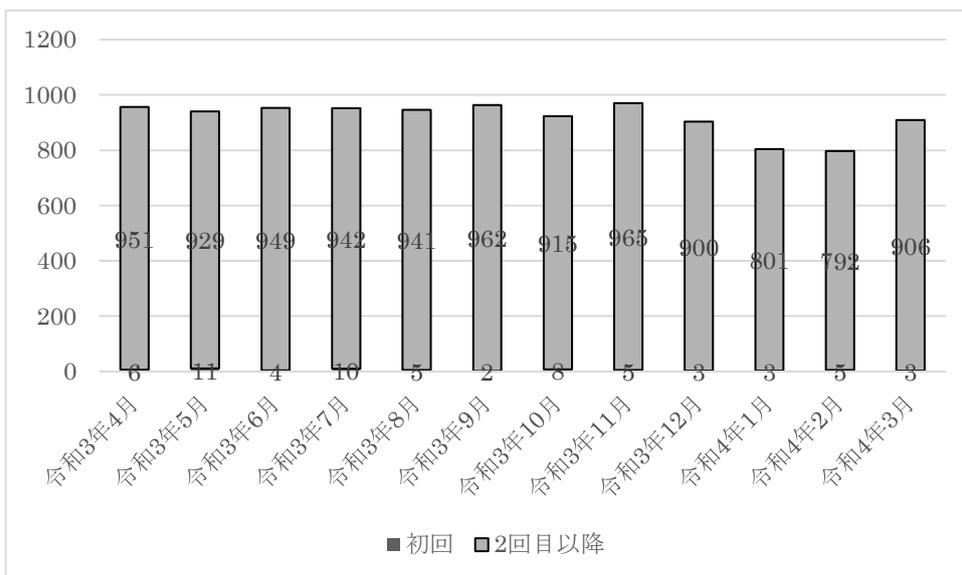
	実利用者数	延べ利用者数
計	242	11,018

(2) 月別通所リハビリテーション実績（延べ人数）内訳

診療日数	258
------	-----

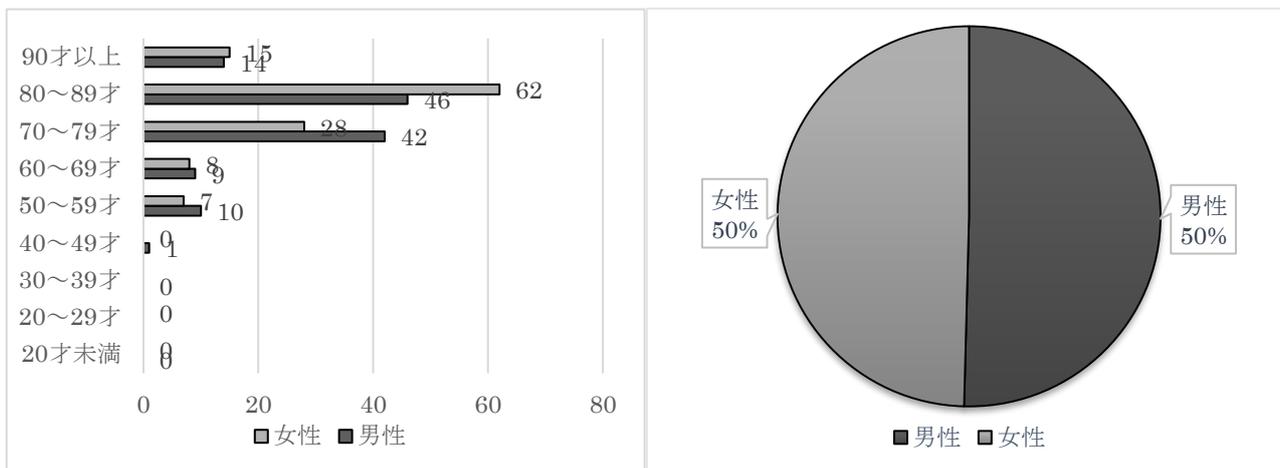
(単位：人)

区分	初回	2回目以降	計
令和3年4月	6	951	957
令和3年5月	11	929	940
令和3年6月	4	949	953
令和3年7月	10	942	952
令和3年8月	5	941	946
令和3年9月	2	962	964
令和3年10月	8	915	923
令和3年11月	5	965	970
令和3年12月	3	900	903
令和4年1月	3	801	804
令和4年2月	5	792	797
令和4年3月	3	906	909
合計	65	10,953	11,018
1日平均患者	0.3	42.5	42.7



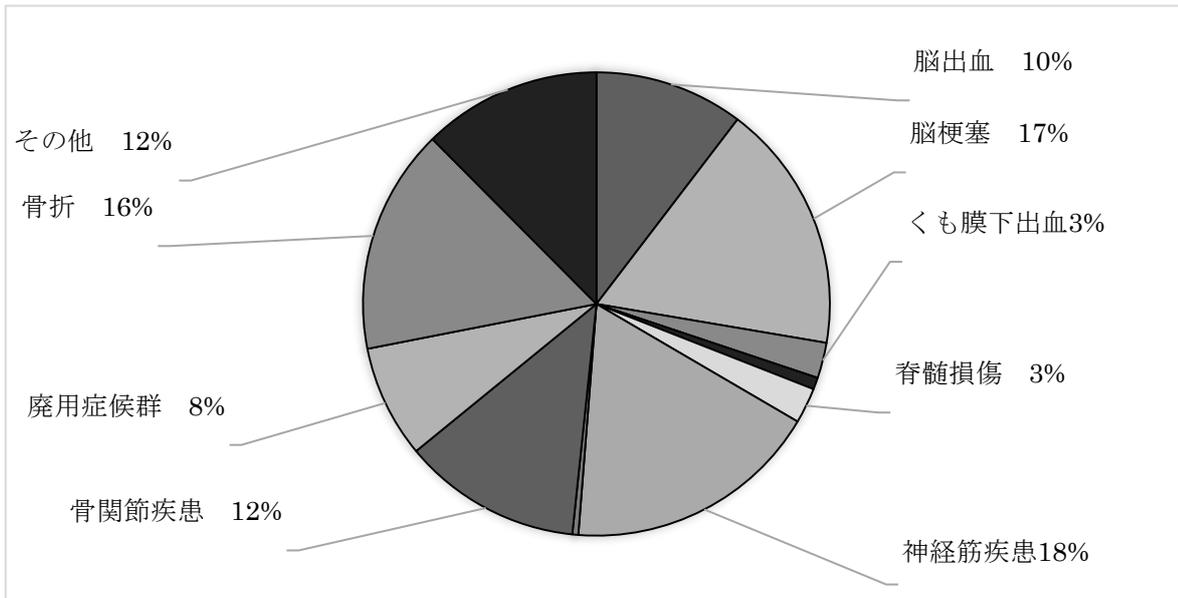
(3) 年齢別・男女別通所リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	0	0	0	0.0%
20～29才	0	0	0	0.0%
30～39才	0	0	0	0.0%
40～49才	1	0	1	0.4%
50～59才	10	7	17	7.0%
60～69才	9	8	17	7.0%
70～79才	42	28	70	28.9%
80～89才	46	62	108	44.6%
90才以上	14	15	29	12.0%
合計	122	120	242	100.0%
平均年齢	77.4	79.8	78.6	



(4) 疾患別通所リハビリテーション利用者内訳

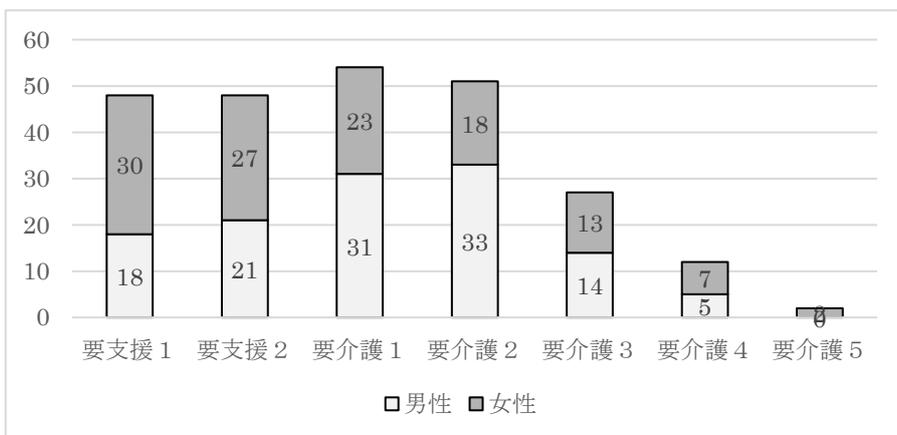
疾患名	患者数	構成割合
脳出血	25	10.3%
脳梗塞	42	17.4%
くも膜下出血	6	2.5%
頭部外傷	2	0.8%
脊髄損傷	6	2.5%
神経筋疾患	43	17.8%
脳腫瘍	1	0.4%
骨関節疾患	30	12.4%
廃用症候群	19	7.9%
骨折	38	15.7%
その他	30	12.4%
合計	242	100.0%



(5) 介護度別分類

(単位：人)

	男性	女性	合計	構成割合
要支援 1	18	30	48	19.8%
要支援 2	21	27	48	19.8%
要介護 1	31	23	54	22.3%
要介護 2	33	18	51	21.1%
要介護 3	14	13	27	11.2%
要介護 4	5	7	12	5.0%
要介護 5	0	2	2	0.8%
合計	122	120	242	100.0%



(6) 地域別通所リハビリテーション利用者内訳

地域	患者数	構成割合
船橋市飯山満町	64	26.45%
船橋市前原西	39	16.12%
船橋市前原東	30	12.40%
船橋市芝山	25	10.33%
船橋市二宮	13	5.37%
船橋市薬円台	11	4.55%
船橋市習志野台	8	3.31%
船橋市駿河台	7	2.89%
船橋市三山	6	2.48%
船橋市中野木	6	2.48%
船橋市高根台	3	1.24%
船橋市七林町	3	1.24%
船橋市習志野	3	1.24%
船橋市松が丘	3	1.24%
船橋市西習志野	3	1.24%
船橋市新高根	2	0.83%
船橋市滝台	2	0.83%
船橋市坪井東	2	0.83%
船橋市田喜野井	2	0.83%
船橋市海神	1	0.41%
船橋市丸山	1	0.41%
船橋市金杉	1	0.41%
船橋市市場	1	0.41%
船橋市大穴南	1	0.41%
船橋市大穴北	1	0.41%
船橋市東船橋	1	0.41%
船橋市二和東	1	0.41%
その他県内	2	0.83%
合計	242	100.0%

3 訪問リハビリテーション利用者

(1) 訪問リハビリテーション利用者数

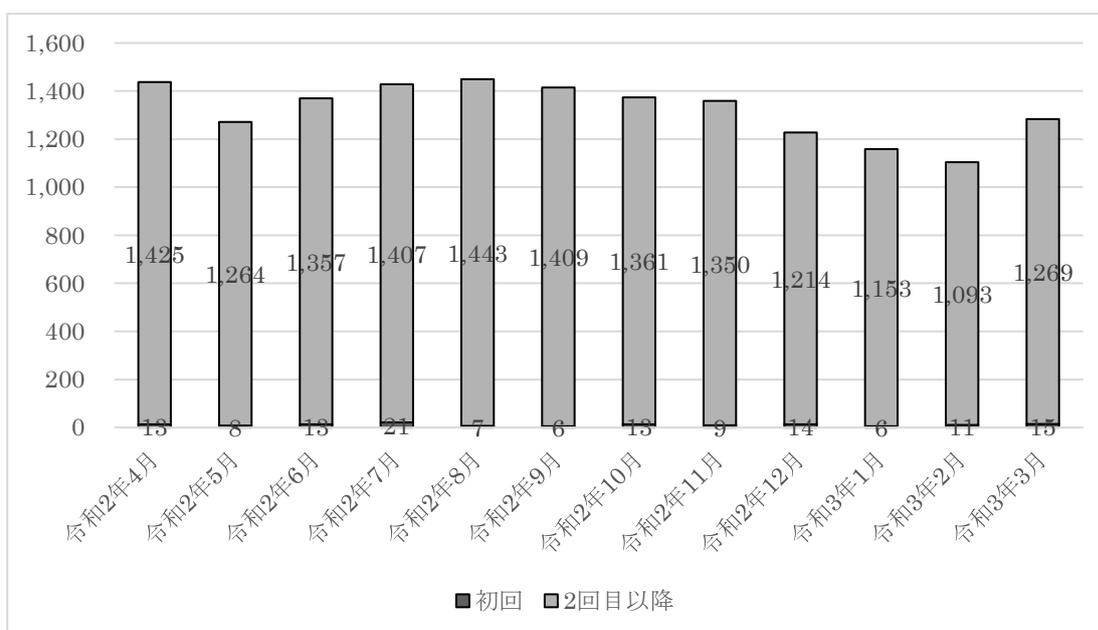
(単位：人)

	実利用者数	延べ利用者数
計	295	15,881

(2) 月別訪問リハビリテーション実績（延べ人数）内訳

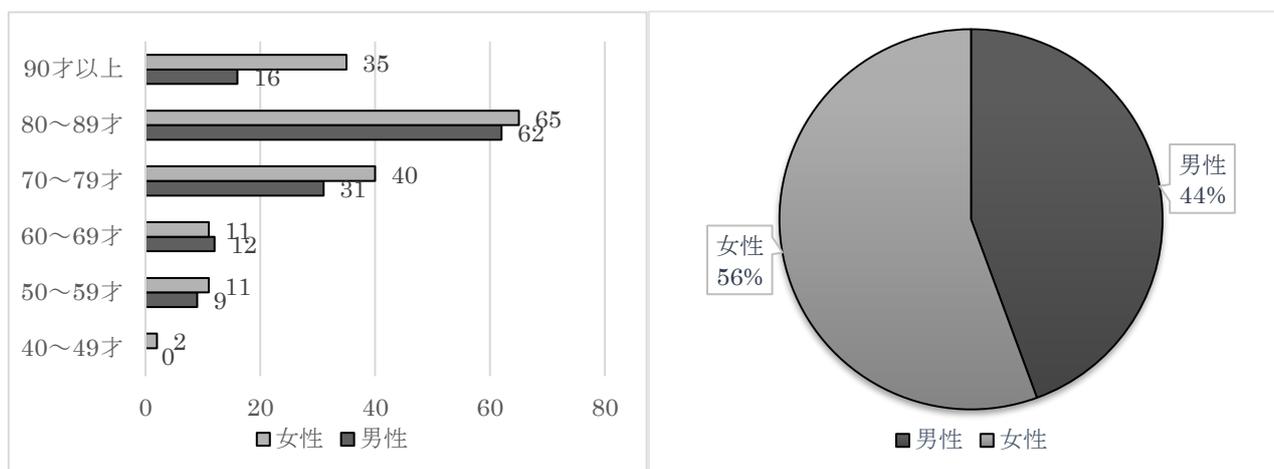
診療日数	258
------	-----

区分	初回	2回目以降	計
令和3年4月	13	1,425	1,438
令和3年5月	8	1,264	1,272
令和3年6月	13	1,357	1,370
令和3年7月	21	1,407	1,428
令和3年8月	7	1,443	1,450
令和3年9月	6	1,409	1,415
令和3年10月	13	1,361	1,374
令和3年11月	9	1,350	1,359
令和3年12月	14	1,214	1,228
令和4年1月	6	1,153	1,159
令和4年2月	11	1,093	1,104
令和4年3月	15	1,269	1,284
合計	136	15,745	15,881
1日平均患者	0.5	61.0	61.6



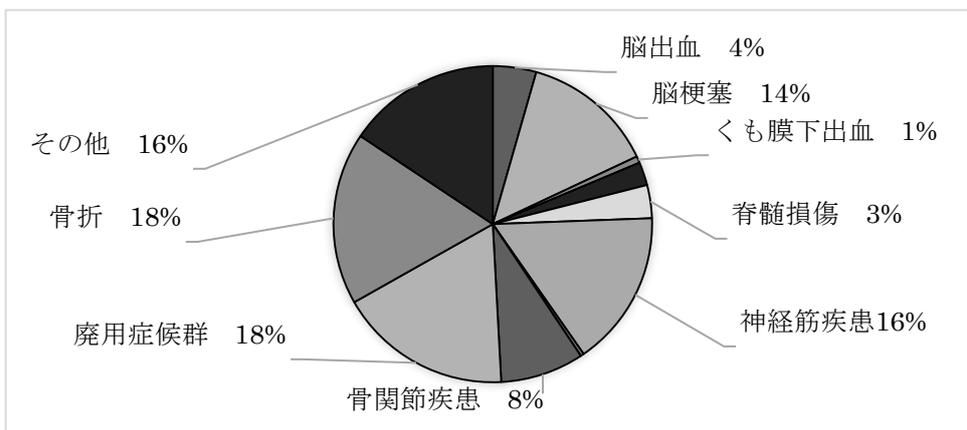
(3) 年齢別・男女別訪問リハビリテーション利用者内訳 (単位：人)

年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	0	0	0	0.0%
20～29才	1	0	1	0.3%
30～39才	0	0	0	0.0%
40～49才	0	2	2	0.7%
50～59才	9	11	20	6.8%
60～69才	12	11	23	7.8%
70～79才	31	40	71	24.1%
80～89才	62	65	127	43.1%
90才以上	16	35	51	17.3%
合計	131	164	295	100.0%
平均年齢	79.1	79.9	79.5	



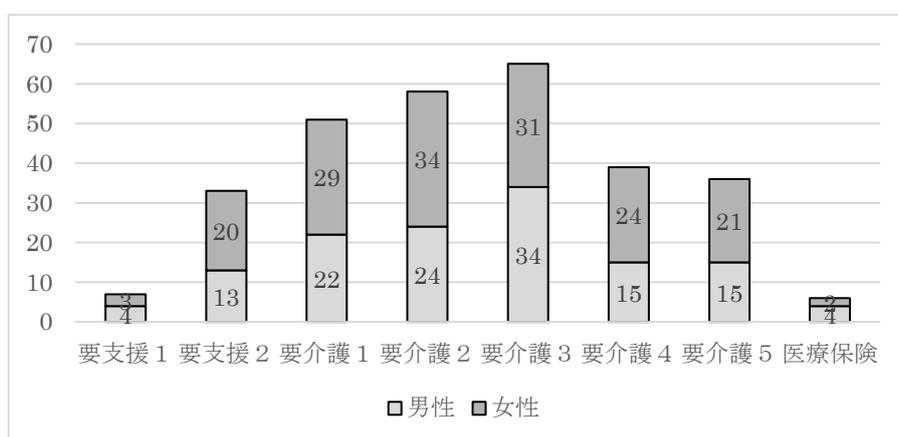
(4) 疾患別訪問リハビリテーション利用者内訳

疾患名	患者数	構成割合
脳出血	13	4.4%
脳梗塞	40	13.6%
くも膜下出血	2	0.7%
頭部外傷	7	2.4%
脊髄損傷	10	3.4%
神経筋疾患	47	15.9%
脳腫瘍	1	0.3%
骨関節疾患	25	8.5%
廃用症候群	52	17.6%
骨折	52	17.6%
その他	46	15.6%
合計	295	100.0%



(5) 介護度別分類

	男性	女性	合計	構成割合
要支援 1	4	3	7	2.4%
要支援 2	13	20	33	11.2%
要介護 1	22	29	51	17.3%
要介護 2	24	34	58	19.7%
要介護 3	34	31	65	22.0%
要介護 4	15	24	39	13.2%
要介護 5	15	21	36	12.2%
医療保険	4	2	6	2.0%
合計	131	164	295	100.0%



(6) 地域別訪問リハビリテーション利用者内訳

地域	患者数	構成割合
船橋市習志野台	43	14.58%
船橋市前原西	33	11.19%
船橋市飯山満町	29	9.83%
船橋市三山	26	8.81%
船橋市田喜野井	25	8.47%
船橋市前原東	23	7.80%
船橋市芝山	18	6.10%
船橋市高根台	17	5.76%
船橋市二宮	10	3.39%
船橋市西習志野	9	3.05%
船橋市薬円台	9	3.05%
船橋市松が丘	7	2.37%
船橋市習志野	5	1.69%
船橋市新高根	5	1.69%
船橋市坪井東	5	1.69%
船橋市緑台	4	1.36%
船橋市七林町	3	1.02%
船橋市滝台	3	1.02%
船橋市東船橋	3	1.02%
船橋市駿河台	2	0.68%
船橋市中野木	2	0.68%
船橋市宮本	1	0.34%
船橋市市場	1	0.34%
船橋市若松	1	0.34%
船橋市滝台町	1	0.34%
船橋市坪井西	1	0.34%
船橋市飯山満	1	0.34%
その他県内	8	2.71%
合計	295	100.0%

4 訪問看護利用者

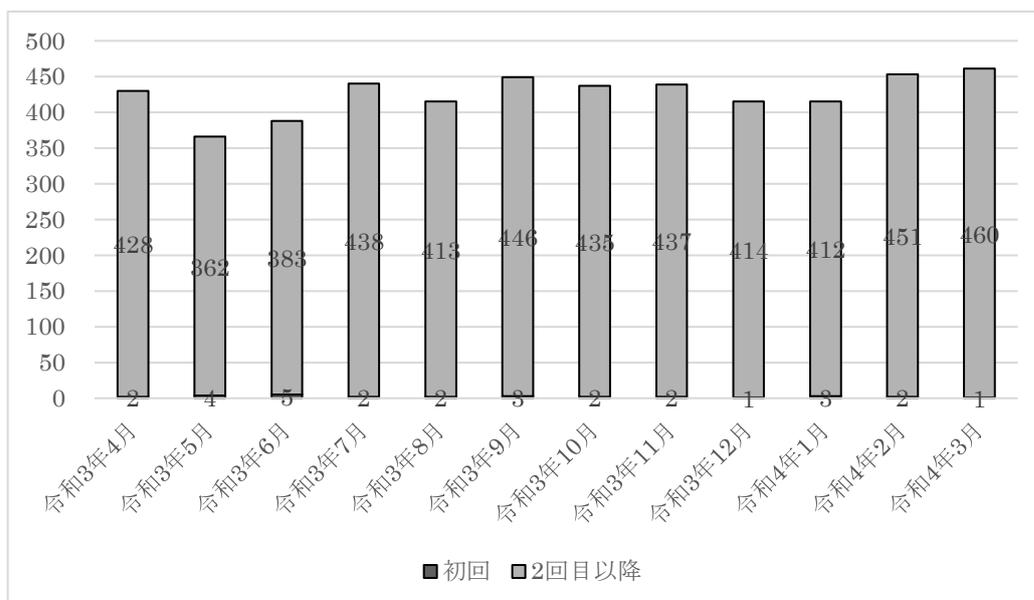
(1) 訪問看護利用者数

	実利用者数	延べ利用者数
計	128	5,108

(2) 月別訪問看護利用者（延べ人数）内訳

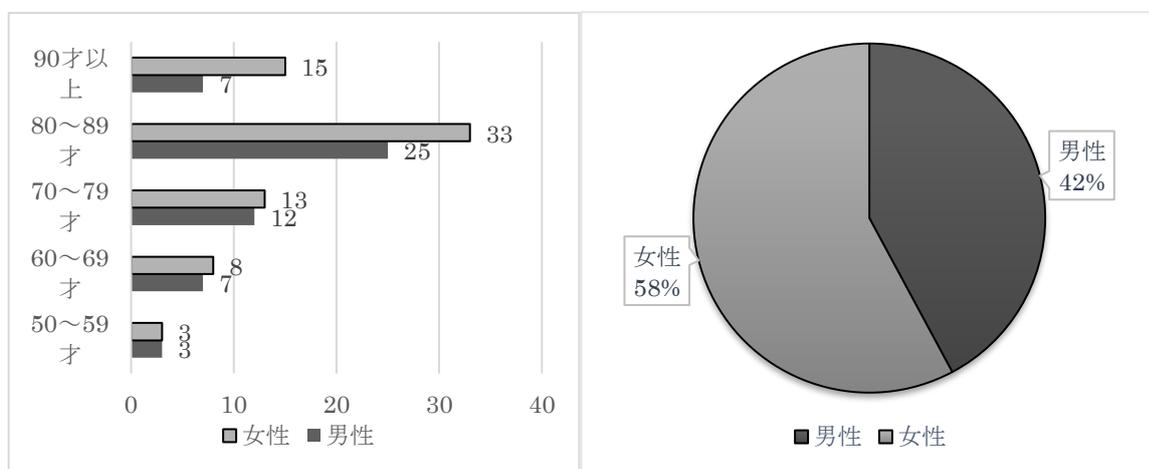
診療日数	258
------	-----

区分	初回	2回目以降	計
令和3年4月	2	428	430
令和3年5月	4	362	366
令和3年6月	5	383	388
令和3年7月	2	438	440
令和3年8月	2	413	415
令和3年9月	3	446	449
令和3年10月	2	435	437
令和3年11月	2	437	439
令和3年12月	1	414	415
令和4年1月	3	412	415
令和4年2月	2	451	453
令和4年3月	1	460	461
合計	29	5,079	5,108
1日平均患者	0.1	19.7	19.8



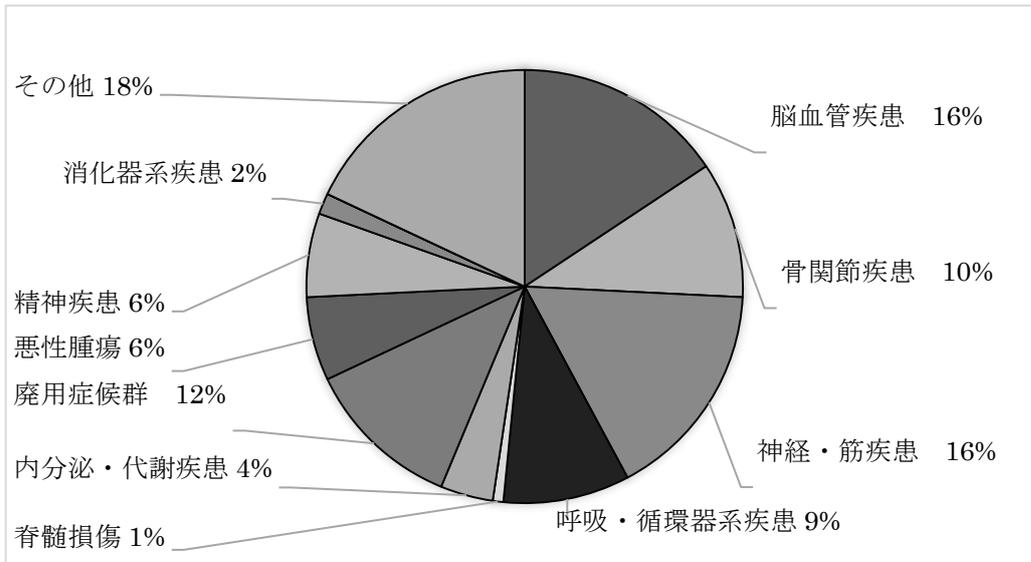
(3) 年齢別・男女別訪問看護利用者内訳

年齢	男性	女性	合計	構成割合
20才未満	0	0	0	0.0%
20～29才	0	1	1	0.8%
30～39才	0	0	0	0.0%
40～49才	0	1	1	0.8%
50～59才	3	3	6	4.7%
60～69才	7	8	15	11.7%
70～79才	12	13	25	19.5%
80～89才	25	33	58	45.3%
90才以上	7	15	22	17.2%
合計	54	74	128	100.0%
平均年齢	78.4	80.1	79.4	



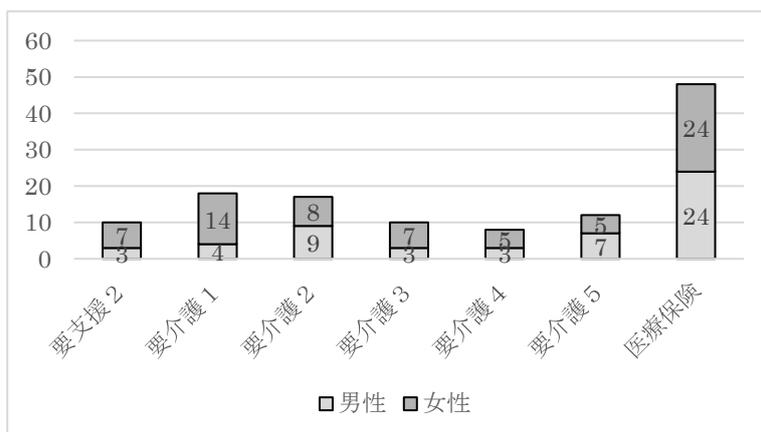
(4) 疾患別訪問看護利用者内訳

疾患名	患者数	構成割合%
脳血管疾患	20	15.6%
骨関節疾患	13	10.2%
神経・筋疾患	21	16.4%
呼吸・循環器系疾患	12	9.4%
脊髄損傷	1	0.8%
内分泌・代謝疾患	5	3.9%
廃用症候群	15	11.7%
悪性腫瘍	8	6.3%
精神疾患	8	6.3%
消化器系疾患	2	1.6%
内科系疾患	0	0.0%
泌尿器系疾患	0	0.0%
その他	23	18.0%
合計	128	100.0%



(5) 介護度別分類

	男性	女性	合計	構成割合
要支援 1	1	4	5	3.9%
要支援 2	3	7	10	7.8%
要介護 1	4	14	18	14.1%
要介護 2	9	8	17	13.3%
要介護 3	3	7	10	7.8%
要介護 4	3	5	8	6.3%
要介護 5	7	5	12	9.4%
医療保険	24	24	48	37.5%
合計	54	74	128	100.0%



(6) 地域別訪問看護利用者内訳

地域	患者数	構成割合%
船橋市薬田台	32	25.00%
船橋市飯山満町	15	11.72%
船橋市前原西	11	8.59%
船橋市夏見	9	7.03%
船橋市習志野台	8	6.25%
船橋市芝山	6	4.69%
船橋市緑台	5	3.91%
船橋市二宮	4	3.13%
船橋市金杉	3	2.34%
船橋市高根台	3	2.34%
船橋市中野木	3	2.34%
船橋市夏見台	2	1.56%
船橋市金杉台	2	1.56%
船橋市高根町	2	1.56%
船橋市三山	2	1.56%
船橋市新高根	2	1.56%
船橋市前原東	2	1.56%
船橋市滝台	2	1.56%
船橋市坪井東	2	1.56%
船橋市田喜野井	2	1.56%
四街道市和良比	1	0.78%
船橋市金堀町	1	0.78%
船橋市三咲	1	0.78%
船橋市若松	1	0.78%
船橋市駿河台	1	0.78%
船橋市西習志野	1	0.78%
船橋市大穴南	1	0.78%
船橋市東船橋	1	0.78%
船橋市東町	1	0.78%
船橋市南三咲	1	0.78%
船橋市浜町	1	0.78%
合計	128	100.0%

5 地域リハビリテーション拠点事業

項目	回数
リハビリ関係者向け講演会	2回
リハビリ関係者向け研修会	4回+動画1本
市民向け講演会	動画配信1本
市民向け研修会	体操資料2種

参加者総数	430	(単位：人)
-------	-----	--------

(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績)

6 リハビリ事業

(1) パワーリハビリ教室

① パワーリハビリ教室 利用者数

	延べ利用者数
計	1195

③ 月別パワーリハビリ教室（延べ人数）内訳

実日数	82
-----	----

(単位：人)

区分	利用者数	登録者数
令和3年4月	97	15
令和3年5月	92	14
令和3年6月	104	14
令和3年7月	101	14
令和3年8月	87	14
令和3年9月	0	0
令和3年10月	127	17
令和3年11月	128	17
令和3年12月	100	17
令和4年1月	124	18
令和4年2月	129	18
令和4年3月	106	18
合計	1195	—
1日平均患者	14.6	—

(2) パワーリハビリフォローアップ

① パワーリハビリフォローアップ 利用者数

	延べ利用者数
計	9,374

② 月別パワーリハビリフォロー（延べ人数）内訳

実日数	220
-----	-----

(単位：人)

区分	利用者数	登録者数
令和3年4月	845	258
令和3年5月	732	257
令和3年6月	842	256
令和3年7月	834	270
令和3年8月	780	269
令和3年9月	0	269
令和3年10月	923	281
令和3年11月	901	239
令和3年12月	898	238
令和4年1月	863	255
令和4年2月	805	240
令和4年3月	951	240
合計	9,374	—
1日平均患者	42.6	—

(3) プールリハビリ

① プールリハビリ 利用者数

	延べ利用者数
計	3,506

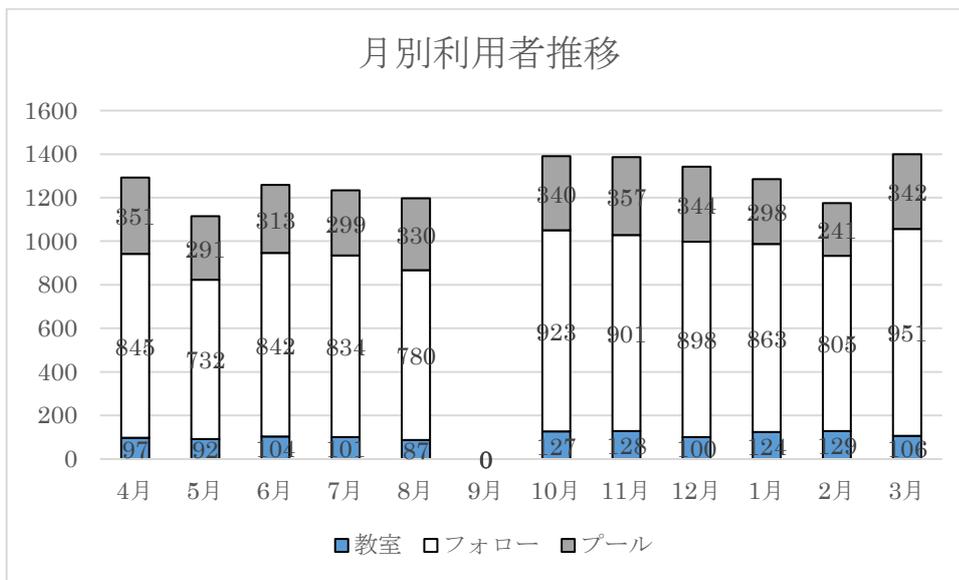
② 月別プールリハビリ（延べ人数）内訳

実日数	218
-----	-----

(単位：人)

区分	利用者数	登録者数
令和3年4月	351	144
令和3年5月	291	143
令和3年6月	313	146
令和3年7月	299	149
令和3年8月	330	150
令和3年9月	0	150

令和3年10月	340	155
令和3年11月	357	130
令和3年12月	344	132
令和4年1月	298	131
令和4年2月	241	126
令和4年3月	342	126
合計	3,506	—
1日平均患者	16.1	—



Ⅲ 収支状況

令和3年度における船橋市リハビリセンターの収支は以下の通りである。

なお、表示単位未満を端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

単位：千円

		診療所	訪問看護	リハビリ事業	地域リハ 拠点事業	施設管理	合計
医業 収益	利 用 料	0	0	3,519	0	0	3,519
	指 定 管 理 委 託 料	0	0	31,274	12,737	22,400	66,411
	医 療 ・ 外 来 収 益	30,306	0	0	0	0	30,306
	介 護 ・ 外 来 収 益	172,144	27,258	0	0	0	199,402
	受 託 検 査 ・ 施 設 利 用 収 益	128	0	0	0	0	128
	訪 問 看 護 収 益	0	15,854	0	0	0	15,854
	そ の 他 医 業 収 益	691	394	0	0	0	1,085
計	203,268	43,507	34,793	12,737	22,400	316,704	
	保 険 等 査 定 減	-1	-6	0	0	0	-8
	計	203,267	43,500	34,793	12,737	22,400	316,697
	医 業 費 用	219,404	38,096	22,357	9,005	16,948	305,810
	医 業 利 益	-16,137	5,404	12,436	3,732	5,451	10,886
	本 部 配 賦 額	0	0	0	0	0	0
	事 業 利 益	-16,137	5,404	12,436	3,732	5,451	10,886
医業外 収益	受 取 利 息 配 当 金	0	0	0	0	0	0
	有 価 証 券 売 却 益	0	0	0	0	0	0
	患 者 外 給 食 収 益	0	0	0	0	0	0
	補 助 金 ・ 負 担 金	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 医 業 外 収 益	569	429	98	0	0	1,096
計	569	429	98	0	0	1,096	
医業外 費用	支 払 利 息	0	0	0	0	0	0
	有 価 証 券 売 却 損	0	0	0	0	0	0
	患 者 外 給 食 材 料 費	0	0	0	0	0	0
	診 療 費 減 免	0	0	0	0	0	0
	貸 倒 損 失	0	0	0	0	0	0
	貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0
	資 産 に 係 る 控 除 対 象 外 消 費 税	0	0	0	0	0	0
	繰 延 消 費 税 等 償 却	0	0	0	0	0	0
そ の 他 医 業 外 費 用	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	
	経 常 利 益	-15,568	5,833	12,533	3,732	5,451	11,982
特 別 利 益	固 定 資 産 売 却 益	0	0	0	0	0	0
	施 設 設 備 補 助 金 等 収 入	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 特 別 利 益	0	0	0	0	0	0
特 別 損 失	固 定 資 産 廃 棄 売 却 損	0	0	0	0	0	0
	施 設 設 備 補 助 金 等 積 立 金 繰 入	0	0	0	0	0	0
	有 価 証 券 評 価 損	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 特 別 損 失	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	
	税 引 前 当 期 純 利 益	-15,568	5,833	12,533	3,732	5,451	11,982
	法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税 負 担 額	0	0	0	0	0	0
	税 金 等 調 整 額	0	0	0	0	0	0
	当 期 純 利 益	-15,568	5,833	12,533	3,732	5,451	11,982

医業費用内訳

		診療所	訪問看護	リハビリ事業	地域リハ拠点事業	施設管理	合計
給与費	給料	151,716	26,551	12,795	4,850	0	195,911
	賞与	16,353	2,798	1,797	680	0	21,629
	賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	1,871	259	180	179	0	2,490
	法定福利費	22,682	4,551	2,042	866	0	30,141
	計	192,623	34,160	16,814	6,575	0	250,171
材料費	医薬品費	78	0	0	0	0	78
	診療材料費	1,137	0	64	0	0	1,201
	医療消耗器具備品費	100	0	39	0	0	139
	給食用材料費	0	0	0	0	0	0
	計	1,314	0	103	0	0	1,417
委託費	検査委託費	304	23	12	4	0	343
	給食委託費	0	0	0	0	0	0
	寝具委託費	0	0	0	0	0	0
	医事委託費	0	0	0	0	0	0
	清掃委託費	0	0	0	0	6,600	6,600
	保守委託費	311	0	0	0	103	414
	その他委託費	1,435	206	239	265	7,260	9,405
	計	2,050	229	251	268	13,963	16,761
設備関係費	減価償却費	1,543	582	387	0	0	2,511
	機器賃借料	0	0	0	0	0	0
	地代家賃	6,172	335	0	0	0	6,507
	修繕費	203	0	59	0	0	262
	固定資産税等	20	0	4	0	0	24
	機器保守費	2,081	350	317	0	0	2,748
	機器設備保険料	0	0	0	0	0	0
	車両関係費	4,277	908	0	0	884	6,069
	計	14,296	2,175	767	0	884	18,121
研究費	研究費	0	0	0	0	0	0
	研修費	207	42	3	27	0	280
	計	207	42	3	27	0	280
経費	福利厚生費	99	5	69	1	0	174
	募集採用費	0	0	0	0	0	0
	旅費交通費	127	1	0	0	0	129
	職員被服費	2,198	299	114	48	0	2,658
	通信費	1,240	502	291	156	0	2,189
	広告宣伝費	0	0	0	434	0	434
	消耗品費	1,578	356	487	261	184	2,867
	消耗器具備品費	286	0	198	0	0	484
	図書費	238	37	1	0	0	276
	会議費	27	0	0	9	0	36
	水道光熱費	1,688	191	0	0	0	1,878
	賃借料	156	0	20	0	0	176
	保険料	198	24	84	0	0	306
	交際費	17	0	0	0	0	17
	諸会費	324	34	0	2	0	360
	租税公課	-74	43	3,141	1,146	1,917	6,173
	貸倒損失	0	0	0	0	0	0
	貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0
	支払手数料	473	0	14	78	0	566
寄付金費	0	0	0	0	0	0	
雑費	339	0	0	0	0	339	
	計	8,914	1,491	4,419	2,135	2,102	19,060
		0	0	0	0	0	0
	合計	219,404	38,096	22,357	9,005	16,948	305,810

IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

令和3年度目標：

1. 外来患者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」のみの割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③待ち時間についてご満足いただけましたか。
2. 外来患者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和3年度実績： 各項目で目標を達成した

1. 外来患者へのアンケート①から③の満足度
 - ①リハビリテーションの質・技術について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 83.3%
「満足」のみの割合 : 75.0%
 - ②職員の対応について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 84.0%
「満足」のみの割合 : 76.0%
 - ③待ち時間について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 91.7%
「満足」のみの割合 : 83.3%
2. 外来患者へのアンケート④から⑤の満足度
 - ④リハビリによる身体機能の変化
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 100.0%
 - ⑤リハビリによる日常生活の動作
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 100.0%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
サービス向上委員会を設置し、センター内ラウンドを月一回実施した。
委員会では令和3年度の接遇目標を作成し、職員に周知した他、接遇の達成度を振り返った。
また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。

② 待合室に関するサービスの向上

外来の待合室については、受付のレイアウトを来院する患者・利用者の様子を確認し易いよう工夫をし、患者、利用者の待ち時間に対する負担軽減に取り組んだ。

③ 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づく、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

④ リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

⑤ 御意見箱の設置

満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

⑥ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用を必須としたが、体調や表情が読み取りにくくなることに留意して対応するよう職員に周知した。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

外来患者へのアンケート①から③の満足度においては、各項目で目標を達成した。

リハビリテーションの質・技術については、前年度（「満足」と「やや満足」を足した割合100.0%、「満足」のみ73.1%）と比較すると「満足」と「やや満足」を足した割合ではやや低下した。引き続き個別リハビリの内容について十分な説明と同意のもと取り組み、目標を達成するよう努める。待ち時間については「満足」のみは前年度80.8%より高い満足度を得られた。引き続き、診療からスムーズにリハビリが開始できるように配慮していく。

外来患者へのアンケート④から⑤の満足度はどちらも100%と目標を達成できた。これらのことから、効果的な質の高いリハビリテーションが実施できたことが裏付けられる。

令和4年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

令和3年度目標：

令和3年4月から令和4年3月において指定通所リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の20以上とする。

令和3年度実績： 13.8%であり、目標を達成できなかった

- ① 令和3年4月から令和4年3月の評価対象期間における通所リハビリテーション終了者数：58名（うち、新型コロナウイルス感染症を理由に終了した方：2名）
- ② ①のうちリハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施し、リハビリの提供を終了した利用者数：8名
※通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防・日常生活支援総合事業における通所事業や一般介護予防事業、また、居宅における家庭での役割を担うことができ通所リハビリテーションを終了した数。
- ③ ①に占める②の割合：13.8%

8名の方は目標である通所介護への移行を達成された。

目標達成に対する活動状況について

- ①介護報酬制度によるリハビリテーションマネジメントに基づき（平成27年3月27日 老老発0327 第3号 リハビリテーションマネジメント加算等に関する基本的な考え方並びにリハビリテーション計画書等の事務処理手順及び様式例の提示について）通所リハビリテーションを利用する利用者全てにリハビリテーション計画書を作成し、利用者の健康状況、心身機能、活動の参加状況を計画書に記録した。
- ②社会参加へ移行ができるよう利用者のリハビリテーション計画を基に、リハビリテーションを提供することで、利用者の日常生活動作（ADL）と外出や買い物等の手段的日常生活動作（IADL）が向上し、社会参加に資する他のサービス等に移行できるなど、質の高いリハビリテーションを提供した。
- ③リハビリを担当する職員が、終了した利用者に対して、その居宅を訪問し、リハビリテーション計画書の項目を活用しながら、リハビリテーションの提供を終了した時と比較して、ADLとIADLが維持又は改善していることを確認した。
- ④また、居宅に訪問しADLとIADLの状況を確認することが困難な場合は、担当の介護支援専門員から居宅サービス計画の提供を依頼するなど、社会参加に資する取組の実施を確認するとともに、電話等の手段を用いて、ADLとIADLの情報を確認した。
- ⑤終了した利用者の状態の悪化又はその恐れがある場合や参加が維持されていなかった場合は、利用者及び家族に適切な助言を行い、医師又は介護支援専門員へ情報を提供した。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

通所リハビリを終了した利用者において、リハビリテーションマネジメントの目標を達成した割合は13.8%であり、目標（20%以上）を達成できなかった。前年度の5.6%からは改善した。これは、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種が進む中、デイサービスでの活動継続につながった為と考えられる。

令和4年度においても、感染対策に留意し、デイサービス事業所等関係機関と連携を深め、利用者の生活の質向上に寄与するよう、働きかけていく。

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

令和3年度目標：

介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合を100分の50以上とする。

令和3年度実績：100%であり、目標を達成した

介護福祉士の占める割合：100%

(全体の介護職員数3人　うち介護福祉士3人)

目標達成に対する活動状況について

- ①中重度の要介護者や認知症高齢者に対応できるケア体制を確保した。
- ②法人本部に設置する人財育成局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、無駄のない配置に努めた。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

介護ニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、介護職員の安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進した。その結果、介護福祉士の占める割合は100%の実績であり、非常に質の高い介護サービスが提供できたと言える。

令和4年度も引き続き、在宅生活を支援するため介護サービスの充実を図る。

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

令和3年度目標：

利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上のスタッフが占める割合を100分の30以上とする。

令和3年度実績：95.7%であり、目標を達成した

勤続年数3年以上の者の占める割合：95.7%

(全体の職員数23人　うち勤続年数3年以上の職員数22人)

経験年数	人数
3年未満	1人
3～5年	10人
5～10年	9人
10年以上	3人

目標達成に対する活動状況について

- ①法人本部に設置する人財育成局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、回復期リハビリテーション病棟で法人の理念や、基礎的なリハビリテーション技術を取得した職員を配置することに努めた。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

リハビリテーションニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、リハビリスタッフの安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進した。その結果、直接従事する職員のうち勤続年数3年以上の占める割合は95.7%の実績となり、一定以上の質が保たれた介護サービスが提供できたと言える。

令和4年度も引き続き、在宅生活を支援するための介護サービスの充実を図る。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

令和3年度目標：

1. 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」のみの割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③通所リハビリのスケジュールについてご満足いただけましたか。
2. 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和3年度実績：各項目で目標を達成した

1. 通所リハビリ利用者へのアンケート①から③の満足度
 - ①個別リハビリテーションについて
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 92.6%
「満足」のみの割合 : 65.3%
 - ②職員の対応について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 92.6%
「満足」のみの割合 : 76.8%
 - ③通所リハビリのスケジュールについて
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 84.2%
「満足」のみの割合 : 64.2%
2. 通所リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度
 - ④リハビリによる身体機能の変化について
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 97.9%
 - ⑤リハビリによる日常生活の動作について
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 95.8%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
サービス向上委員会を設置し、センター内ラウンドを月一回実施した。委員会では令和3年度の接遇目標を作成し、全体会議にて周知した他、接遇の達成度を振り返った。
また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。
- ② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上
患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づき、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。ま

た、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

③リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

④御意見箱の設置

満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

通所リハビリ利用者へのアンケートの満足度は全ての項目で目標を達成した。通所リハビリのスケジュールについては前年度は「満足」と「やや満足」を足した割合77.5%（「満足」のみ49.6%）と目標を達成できなかったが、質問の文面は「通所リハビリの回数（頻度）についてご満足いただいていますか」であるので、もっと回数を増やしたいが希望通りにいかない、という方が多いと考えられたため、医師による診察と多職種によるカンファレンスにて必要な頻度を決定し、利用者本人・家族・ケアマネジャーへの説明・共有が丁寧なものとなるよう心掛けた結果ではないかと考える。引き続き利用者本人が納得し、満足度が上がるよう取り組んでいきたい。

また、通所リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度は目標を達成できた。これらのことから、効果的な質の高いリハビリテーションが実施できたことが裏付けられる。

令和4年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

令和3年度目標：

令和3年4月から令和4年3月において指定訪問リハビリテーションの提供を終了した者のうち、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者の占める割合が100分の20以上とする。

令和3年度実績： 19.1%であり、目標を達成できなかった

- ① 令和3年4月から令和4年3月の評価対象期間における指定訪問リハビリテーション終了者数：141名（うち、新型コロナウイルス感染症を理由に終了した方：1名）
- ② ①のうちリハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施し、リハビリの提供を終了した利用者数：27名
 ※通所リハビリテーション、通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防・日常生活支援総合事業における通所事業や一般介護予防事業、また、居宅における家庭での役割を担うことができ訪問リハビリテーションを終了した数。
- ③ ①に占める②の割合：19.1%

内訳)

- ・ 目標達成 17名

リハビリを開始するにあたっての目標と達成事例

開始目標	終了時の達成状況
・ バスを使ってプールに行くことができる。	・ 1万歩以上歩くことができるようになり、公共交通機関の利用が可能になった。プールにも行ける身体機能が獲得できた。
・ 慢性関節リウマチの既往がある。昨年に転倒してから歩行が不安定になってしまい、膝が曲がらないのでリハビリをして上手く歩けるようになる。	・ 自転車やT字杖歩行、娘宅や実家での手伝いが行えるようになり、本人なりにメンテナンス方法も習得できるようになった。
・ 自宅エントランス段差を安全に昇降できるようになり、船橋のデイケアやデイサービスに慣れることができる。	・ 自宅エントランス段差歩行移動は可自立。以後は通所リハで新たな課題に取り組んでいく。
・ 自宅で転倒なく生活できる。 歩行器を使いデイサービスに行くことができる。 普通箸操作や書字が継続できる。	・ 筋力の向上によるバランス能力が向上した。転倒なく、ADL・IADLが自立され、当初目標としてきた買い物の自立が可能となった。
・ 自宅で体調不良なく生活できる。 公共交通機関を使い都内の職場まで外出できる。	・ 都内への外出は可能。散歩は週半分は実施、起立着座も時折行っていると。内科的にも問題なし。食欲も

	あり散歩や子供へのボランティアも継続できている。
屋内歩行を安定させ、屋外歩行もできるようになる。	右下肢の筋力も上がってきており、屋外歩行の機会をリハビリ以外でも作れている。1ヵ月ほど自主トレーニングの継続を確認し、通所サービスを増やすことになった。

・通所リハビリへ移行 10名

目標達成に対する活動状況について

- ①介護報酬制度によるリハビリテーションマネジメントに基づき（平成27年3月27日 老老発0327 第3号 リハビリテーションマネジメント加算等に関する基本的な考え方並びにリハビリテーション計画書等の事務処理手順及び様式例の提示について）訪問リハビリテーションを利用する利用者全てにリハビリテーション計画書を作成し、利用者の健康状況、心身機能、活動の参加状況を計画書に記録した。
- ②社会参加へ移行ができるよう利用者のリハビリテーション計画を基に、リハビリテーションを提供することで、利用者のADLとIADLが向上し、社会参加に資する他のサービス等に移行できるなど、質の高いリハビリテーションを提供した。
- ③リハビリを担当する職員が、終了した利用者に対して、その居宅を訪問し、リハビリテーション計画書の項目を活用しながら、リハビリテーションの提供を終了した時と比較して、ADLとIADLが維持又は改善していることを確認した。
- ④また、居宅に訪問しADLとIADLの状況を確認することが困難な場合は、担当の介護支援専門員から居宅サービス計画の提供を依頼するなど、社会参加に資する取組の実施を確認するとともに、電話等の手段を用いて、ADLとIADLの情報を確認した。
- ⑤終了した利用者の状態の悪化又はその恐れがある場合や参加が維持されていなかった場合は、利用者及び家族に適切な助言を行い、医師又は介護支援専門員へ情報を提供した。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問リハビリを終了した利用者において、リハビリテーションマネジメントの目標を達成した割合は19.1%であり、目標の20%を達成できなかった。令和4年度は、スタッフの感染対策に留意し、通所系サービス事業所等関係機関と連携を図り、利用者の生活の質向上に寄与するよう、働きかけていく。

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

令和3年度目標：

利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合を100分の30以上とする。

令和3年度実績：100%であり、目標を達成した

勤続年数3年以上の者の占める割合：**100%**

理学療法士 13人 (うち勤続年数3年以上の者) 13人

作業療法士 5人 (うち勤続年数3年以上の者) 5人

言語聴覚士 2人 (うち勤続年数3年以上の者) 2人

目標達成に対する活動状況について

- ①法人本部に設置する人財育成局を通じ、船橋市リハビリセンター以外の拠点からの人事異動を可能にし、回復期リハビリテーション病棟で法人の理念や、基礎的なリハビリテーション技術を取得した職員を配置することに努めた。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

リハビリテーションニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、リハビリスタッフの安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進した。その結果、直接従事する職員のうち勤続年数3年以上の占める割合は100%の実績であり、一定以上の質が保たれたサービスが提供できたと言える。

令和4年度も引き続き、在宅生活を支援するためのサービスの充実を図る。

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

令和3年度目標：

1. 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の①から③について、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。
 - ①当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
 - ②職員の対応についてご満足いただけましたか。
 - ③訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。
2. 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目中、以下の④から⑤について、「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合が85%以上であること。
 - ④リハビリを受けることで、あなたの身体機能はどのようになると思っていますか。
 - ⑤リハビリを受けることで、日常生活を送る上での動作（移動（活動範囲の拡大も含む）、食事、排泄、入浴、着替え等）はどのようになると思っていますか。

令和3年度実績： 各項目で目標を達成した

1. 訪問リハビリ利用者へのアンケート①から③の満足度
 - ①リハビリテーションの質・技術について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 86.6%
「満足」のみの割合 : 68.7%
 - ②職員の対応について
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 86.6%
「満足」のみの割合 : 77.6%
 - ③訪問リハビリのスケジュールについて
「満足」と「やや満足」を足した割合 : 83.6%
「満足」のみの割合 : 62.7%
2. 訪問リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度
 - ④リハビリによる身体機能の変化について
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 88.1%
 - ⑤リハビリによる日常生活の動作について
「良くなる」と「現状が維持できる」を足した割合 : 94.0%

目標達成に対する活動状況について

- ① 職員の対応に関する事項の満足度の向上
法人の人財育成局が基軸となり、訪問リハビリに従事する全職員に対し、訪問療法士としての姿勢・態度、利用者・家族の生活の視点、情報収集・説明責任、訪問リハビリの基本的視点、リスク管理、多職種協同の具現化などについて指導を行った。また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。
- ② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上
患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づく、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示すること

や、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

③リハビリテーションの提供に当たっては、職員の技術向上研修等で満足度の向上を目指した。

④満足度調査の結果だけでなく、訪問時に利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問リハビリ利用者へのアンケート①から③の満足度は、各項目で目標を達成した。ただ、各項目ともに前年度よりは下がっているので、リハビリテーションの質や技術、接遇などを意識し、より満足度が向上するよう努めたい。

また、訪問リハビリ利用者へのアンケート④から⑤の満足度も目標を達成できた。これらのことから、効果的な質の高いリハビリテーションが実施できたことが裏付けられる。

令和4年度も更なる満足度の向上を目指し取り組んでいく。

IV 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

令和3年度目標：

訪問看護利用者へのアンケート項目の内、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。

令和3年度実績：各項目で目標を達成した

① 訪問看護について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 93.1%

「満足」のみ割合 : 86.2%

② 職員の対応について

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 96.6%

「満足」のみ割合 : 93.1%

③ 訪問看護のスケジュールについて

「満足」と「やや満足」を足した割合 : 96.6%

「満足」のみ割合 : 96.6%

目標達成に対する活動状況について

① 職員の対応に関する事項の満足度の向上

適宜、訪問看護ステーションの所長が職員の訪問に帯同し、訪問看護の内容や接遇を把握し指導を行った。また、接遇について各職員が日頃気を付けている点をまとめ、共有することで意識付けを行った。

② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上

患者・利用者のプライバシーへの配慮については、個人情報保護規程に基づく、個人情報の保護を徹底するようスタッフへ教育を行った。また、個人情報保護についての方針に関して、センター内へ掲示することや、介護サービス契約に個人情報保護について明記し、センターの方針を周知した。

③ 訪問看護の提供に当たっては、職員の知識・技術向上研修等で満足度の向上を目指した。また、利用者ごとに毎月発行する訪問看護計画・報告書を訪問看護ステーション所長が全例を確認し、職員の技術向上を図った。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

訪問看護利用者へのアンケート①から③の満足度は、各項目で目標を達成した。各項目ともに非常に高い満足度となっているが、これを継続できるよう引き続き質や技術、接遇などを意識し、より満足度が向上するよう努めたい。

令和4年度も引き続き、更なる患者満足度の向上を図る。

V リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる満足度

<p>令和3年度目標：</p> <p>リハビリ事業利用者へのアンケート項目の内、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上であること。</p>
<p>令和3年度実績： 3項目中、2項目で目標を達成できなかった</p> <p>① 職員の対応について</p> <p>「満足」と「やや満足」を足した割合 : 98.4%</p> <p>「満足」のみの割合 : 86.8%</p> <p>② パワーリハビリについて</p> <p>「満足」と「やや満足」を足した割合 : 94.0%</p> <p>「満足」のみの割合 : 57.0%</p> <p>③ プールリハビリについて</p> <p>「満足」と「やや満足」を足した割合 : 93.0%</p> <p>「満足」のみの割合 : 52.1%</p>
<p>目標達成に対する活動状況について</p> <p>① 職員の対応に関する事項の満足度の向上</p> <p>② 患者・利用者の個人情報保護の徹底による満足度の向上</p> <p>職員の対応については「外来患者・通所リハビリ・訪問リハビリ患者または利用者満足度」の活動状況に記載したとおり接遇研修を実施し、スタッフの接遇レベル向上を図った。</p> <p>また、患者・利用者のプライバシーへの配慮についても、同様な対応をとり満足度の向上を図った。</p> <p>② 待ち時間に対する満足度の向上</p> <p>令和3年度は8月末から9月末まで事業を休止した。再開後、利用者増までは時間を要したが、ワクチン接種も進み、徐々に利用者が増えていき、待ち時間が増加した。そこで、パワーリハビリで使用するマシンを一台増設することで、待ち時間の減少を図った。</p> <p>④ 御意見箱の設置</p> <p>満足度調査の結果だけでなく、センター内に御意見箱を設置し、利用者の御意見を傾聴し、真摯に対応する体制を構築したことで、利用者の満足度の向上を図った。</p>
<p>令和3年度の実績に基づく今後の改善点について</p> <p>職員の対応98.4%（「満足」だけだと86.8%）、パワーリハビリ94.0%（57.0%）、プールリハビリ93.0%（52.1%）と、「満足」と「やや満足」を足した割合では全て90%以上であったが、満足のみ割合ではパワーリハビリとプールリハビリが60%を下回った。パワーリハビリはマシンを増やして欲しいという要望が多かったため、3月に1台増設した。パワーリハビリ・プールリハビリともに予約回数を増やして欲しいという要望が多いが、多くの方が使いにくくなる可能性や、シャワー台数などから難しい部分があるため、検討課題としたい。</p> <p>全体的に「満足」と「やや満足」合わせれば非常に高い満足度であることか</p>

ら、利用率の高い状況下においても利用者の安全性の確保や、利用し易い施設運営は図れていると考えられる。

令和4年度においても引き続き、患者満足度の維持・向上を図る。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標11 診療所部門 経常収支比率

<p>令和3年度目標： 診療所経常収支比率 100%以上</p>
<p>令和3年度実績： 診療所経常収支比率 92.9% と目標を達成できなかった <u>※各部門の指定管理料を除いた収入の合計を各部門の支出の合計で除して100を乗じて算出した割合で算出。</u></p>
<p>目標達成に対する活動状況について</p> <p>① 増患対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来リハ件数（紹介件数）の増加対策として、船橋市立医療センター等急性期病院へ当クリニックの案内を実施した。 ・ 外来リハビリ患者の増加を目指し、回復期病棟を持つ近隣医療機関へ紹介を行った。また、船橋市立リハビリテーション病院と当クリニックの空き枠情報を共有し、リハ病院退院患者で当クリニックに居住地が近い患者の積極的な受け入れを行った。 ・ 令和3年度も非常勤医師の勤務日数を週3日確保し、外来・通所の新患外来を積極的に実施。またこれにより往診枠を確保し、訪問リハ件数が増加しても3ヶ月に1回の往診が継続できる体制とした。 ・ 通所リハビリ、訪問リハビリ利用者の増加を目指し、サービスエリア内の居宅介護支援事業所との情報交換を実施した。 ・ センター機関誌を有効活用し、地域・医師会・居宅介護支援事業所・在宅へセンターの情報発信を実施した。 <p>② 費用の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者・利用者の減少時・増加時に無理・無駄の無いスムーズな人員配置が出来るよう、法人本部に設置する人財育成局を通じ、他の拠点との人事異動を可能にし、常に適切な人員配置に努めた。
<p>令和3年度の実績に基づく今後の改善点について</p> <p>※外来リハ 令和3年度実績 28.8人／日（前年度対比 +2.1人／日） ※通所リハ 令和3年度実績 42.7人／日（前年度対比 +0.9人／日） ※訪問リハ 令和3年度実績 61.6人／日（前年度対比 +1.6人／日）</p> <p>外来リハ・通所リハは、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け患者数が減少した前年度に比べるとそれぞれ増加したまた、訪問リハは前年度はニーズが高まり患者数が大きく増加したが、その傾向は継続し、令和3年度も患者数は増加した。</p> <p>令和3年度の経常利益は-15,568千円で、診療所経常収支比率は92.9%であった。前年度は-1,979千円で経常収支比率は99.0%であったため、前年度に比べても-6.1%の減少となった。要因としては、医業収益は+4,187千円増加したが、給与費など医業費用も+15,322千円増加したためである。</p> <p>令和4年度においても引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しながら、患者・利用者が安心して通院できるよう、また、安心して自宅でリハビリを受けることができるよう、クリニック運営を行っていく。</p>

目標12 訪問看護部門 経常収支比率

令和3年度目標： 訪問看護経常収支比率 100%以上

令和3年度実績： 訪問看護経常収支比率 115.3% と目標を達成した
※各部門の指定管理料を除いた収入の合計を各部門の支出の合計で除して100を乗じて算出した割合で算出。

目標達成に対する活動状況について

①増患対策

- ・サービスエリア内居宅介護支援事業所と情報交換を実施した。
- ・訪問看護からの訪問リハ（訪問看護I5）を実施し、訪問看護・訪問リハの併用が必要な利用者についてケアマネジャーが依頼しやすい体制を整え、訪問看護件数の増加を図った。

②費用の削減

- ・看護師は紹介会社経由で採用すると高額な紹介手数料が発生する。可能な限り紹介会社を使わなくてすむよう、同法人他拠点の退職希望者への声掛けなどを行うことで、費用を抑えた採用につなげた。

令和3年度の実績に基づく今後の改善点について

※訪問看護 令和3年度実績 19.8人／日（前年度対比 +1.3人／日）

訪問看護からの訪問リハ（訪問看護I5）件数が増加したことで、訪問看護全体の実績も増加した。（看護のみ件数15.9人／日、リハ件数3.9人／日）

令和3年度の経常利益は5,833千円で、訪問看護経常収支比率は115.3%であった。前年度は4,448千円で経常収支比率は112.1%であり、前年度比で見ても増加した。要因としては、医業収益は+2,696千円増加したが、医業費用は+1,210千円増加であったためである。

令和4年度においては引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しながら、利用者増加を図っていく。

3. その他管理に関する重要事項

目標13 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う

<p>令和3年度目標：</p> <p>地域リハビリテーション拠点事業に定めた事業内容を最低限行うこと。</p>																									
<p>令和3年度実績： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合形式での講演会や研修会は開催できなかったが、Web形式で行うことで、概ね計画通り事業を実施した。</p>																									
<p>目標達成に対する活動状況について</p> <table border="0"> <tr> <td>①リハビリセンターパンフレット作成</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>③リハビリセンター刊行物の作成、配布</td> <td>4回/年</td> </tr> <tr> <td>④ホームページに最新情報を掲載</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑤市民向け講演会開催</td> <td>動画配信1本/年 (まちづくり出前講座を予定したが中止となった)</td> </tr> <tr> <td>⑥市民向け研修会開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自宅でする体操チラシ配布</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑦リハビリ関係者向け講演会開催</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td>⑧リハビリ関係者向け研修会開催</td> <td>4回/年、動画配信1本</td> </tr> <tr> <td>⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告</td> <td>2回/年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。</td> </tr> </table> <p>(資料3 地域リハビリテーション拠点事業実績)</p>		①リハビリセンターパンフレット作成	1回/年	②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布	2回/年	③リハビリセンター刊行物の作成、配布	4回/年	④ホームページに最新情報を掲載	2回/年	⑤市民向け講演会開催	動画配信1本/年 (まちづくり出前講座を予定したが中止となった)	⑥市民向け研修会開催		自宅でする体操チラシ配布	2回/年	⑦リハビリ関係者向け講演会開催	2回/年	⑧リハビリ関係者向け研修会開催	4回/年、動画配信1本	⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告	2回/年	⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。		⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。	
①リハビリセンターパンフレット作成	1回/年																								
②地域リハビリ推進用リーフレットの作成、配布	2回/年																								
③リハビリセンター刊行物の作成、配布	4回/年																								
④ホームページに最新情報を掲載	2回/年																								
⑤市民向け講演会開催	動画配信1本/年 (まちづくり出前講座を予定したが中止となった)																								
⑥市民向け研修会開催																									
自宅でする体操チラシ配布	2回/年																								
⑦リハビリ関係者向け講演会開催	2回/年																								
⑧リハビリ関係者向け研修会開催	4回/年、動画配信1本																								
⑨維持期リハビリの実態と潜在的なニーズの調査研究報告	2回/年																								
⑩船橋市地域リハビリテーション協議会、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等のメンバーと積極的に連携を行った。																									
⑪リハビリセンター内にリハビリ相談窓口を設置し、総合相談を行った。																									
<p>令和3年度の実績に基づく今後の改善点について</p> <p>令和3年度は、令和2年度の経験を活かし、ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会等を通じて、各団体と協議し、Webを活用した研修会、勉強会に切り替え開催した。</p> <p>市民向け講演会として予定した「まちづくり出前講座」は直前に新型コロナ蔓延防止等重点措置等の影響により中止せざるを得ない状況であった。</p>																									